

霞ヶ浦流域における水防災・環境教育の実施（潮来市立延方小学校）

霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

【概要】

- ・ 稲敷市で霞ヶ浦河川事務所と教育委員会や小学校の先生などが共同で作成した教材を参考に、地域の情報を入れて編集した資料を使って、潮来市立延方小学校で授業を実施。（平成29年度は、稲敷市立あずま東小学校で試行授業を実施。）
- ・ 次年度、市内の全小学校へ展開するため、各小学校の先生を集め、平成30年10月26日に公開授業を実施。

概要説明（水防災教育の主旨説明）



授業の様子（理科：流れる水のはたらき）



- ・ 学校区の近くを流れる鰐川周辺を、浸水想定区域図を使用して、水害リスクを学習
- ・ 水害を防ぐための工夫について、流れる水の働きを根拠に、グループで協議。
- ・ これまでの授業で、子供達から意見が出た場所、施設を、現地の写真を使って学習。

授業後の研究協議（工夫、反省点、質問）



授業の様子（社会科：私たちの生活と環境）



- ・ 自分たちの身近な地域で自然災害が起きた場合に困ることを考え、グループで協議。
- ・ 地域の水害による被災時の写真と現在の復旧後の写真、施設等の写真を提示して、国や地方自治体の役割を学習。
- ・ 自然災害から身を守るためにどのような取組が行われているのかを学習。

【実施結果】

- ・ 各クラスの先生が、霞ヶ浦流域で作成した教材を潮来市を流れる川、施設を中心に説明。
- ・ 先生自身が、事務所への協議や、提供した被災写真と同じ場所の現在について、比較の写真を撮るなど工夫がされている。
- ・ 生徒たちから自分の家の近く、行ったことがある場所と発言があり、地域の問題として関心・意欲を高める事ができていた。